

すみりんニュース No.89



へんしゅう はつこう こうえきざいだんほうじん すみよしりん ぼ じ ぎょうすいしんきょうかい
編集・発行：公益財団法人 住吉隣保事業推進協会

へんしゅうはつこうにん り じ ちょう ともなが けんぞう * 『すみりんニュース』は、2カ月に一度発行しています。

こうえきざいだんほうじん すみよしりん ぼ じ ぎょうすいしんきょうかい おおさかし すみよしく てつかやまびがし
公益財団法人 住吉隣保事業推進協会 〒558-0054 大阪市住吉区帝塚山 東 5-6-15
TEL (06) 6674-3732 FAX (06) 6674-3700 <http://www.sumiyoshi.or.jp/>

ごう ないよう (この号の内容)

- 「ミニ・オガリ像設置セレモニー 除幕式あいさつ」
ともながけんぞう こうえきざいだんほうじん すみよしりん ぼ じ ぎょうすいしんきょうかいり じちょう
友永健三(公益財団法人 住吉隣保事業推進協会理事長)……1-2
- 2022年度住吉部落史研究会「差別と闘う文化～オガリ像の住吉設置によせて～」
ねん ど すみよし ぶらくし けんきゅうかい さべつ たたか ぶんか おがりぞう すみよしせっち
きんじょうみのる ちょうこくか
金城実(彫刻家)……2-10
- 連載 Vol.12 けんぞうの視点 「100年に及ぶ国際連帯の輪の広がり」
ねん およ こくさいれんたい わ ひろ
ともながけんぞう こうえきざいだんほうじん すみよしりん ぼ じ ぎょうすいしんきょうかいり じちょう
友永健三(公益財団法人 住吉隣保事業推進協会理事長)……11-15
- 住吉隣保事業推進協会のうごき……16

こんごう に ゆー す さ がつ にち かいさい みに おがりぞうせっちせれもにー おがりぞう
今号のすみりんニュースでは、去る2月11日に開催した「ミニ・オガリ像設置セレモニー」と、オガリ像の
せいさくしゃ きんじょうみのる こうし わか ねん ど すみよし ぶらくし けんきゅうかい かん ないよう ちゅうしん つた
制作者である金城実さんを講師に迎えた「2022年度住吉部落史研究会」に関する内容を中心にお伝
えます。当日は、住吉地区住民をはじめ、多方面から約80人が参加されました。ミニ・オガリ像の設置
をきっかけに、これまでの「つながり」や新しい「つながり」が生まれ、人権や平和を尊重する社会へと向
かっていくことを期待します。(事務局)

おがりぞうせっちせれもにー じよまくしき オガリ像設置セレモニー 除幕式あいさつ



じよまくしき あつ
除幕式にお集まりくださり、ありがとうございます。
みなさまご承知のように、住吉の地には、1977年2月
しん すみよしかいほうかいかんらくせいじ しょうめんげんかん うえ たか
の新・住吉解放会館落成時より、正面玄関の上に高さ
めーとる よこはば めーとる きょだい おがりぞう せっち
12.3メートル、横幅7メートルの巨大なオガリ像が設置さ
すみよし ち くじゅうみん おお ひと さべつ たたか
れ、住吉地区住民をはじめ、多くの人びとに差別と闘う
ゆうき つづ
勇気をあたえ続けてきてくれました。
しかしながら、はしもとしちょうじだい おお ひと ねが
橋下市長時代に多くの人びとの願いを
ふ ねん がつまつ しみんこうりゅうせんたー
踏みにじり、2016年3月末で市民交流センターすみよし

きた へいさ お こ ねん がつ たいしんじょう もん
北が閉鎖に追い込まれ、2018年5月には、耐震上の問
だい どうせんたー かいたい
題があり、同センターは解体されることとなりました。

さい おがりぞう はんさべつ へいわ たいせつ しょうちよう
その際、オガリ像は、反差別と平和の大切な象徴で
あるため、せいさくしゃ きんじょうみのる ら そうだん おきなわ
・制作者の金城実さん等と相談し、沖縄・
よみたんそん おく
読谷村に送ることになりました。その際、多くのみなさまか
ら しえん
らご支援をいただきましたことに御礼申し上げます。

いらい こんにち ねんかん すみよし ち うん
それ以来、今日までおよそ5年間、住吉の地では、運
どう しんぼる おがりぞう なに こころ
動のシンボルであったオガリ像がない、何か心のなかに
あな あ じょうたい
ぽっかりと穴が開いたような状態がつついてきました。

このようななかで、じもと おきなわ よみたんそん きんじょう
地元では、沖縄・読谷村の金城さ
たく みにおがりぞう たか めーとる
宅におかれている、ミニ・オガリ像（高さ2.2メートル、
はば めーとる みんせつち みんえい けんせつ すみよしりんぼし
幅1.4メートル）を、民設置民営で建設した住吉隣保事
ぎょうすいせんたー りんぼかん ことぶき せっち
業推センター（すみよし隣保館 寿）に設置したいとい
ねが たか きんじょう かんけいしゃ そうだん
う願いが高まり、金城さんをはじめとする関係者に相談
したところ、かいだく こんにち じょうまくしき あいな
ご快諾をいただき、今日の除幕式と相成りました。

ほんじつ こう ふた りんぼかん ことぶき せっち
本日以降は、再び、すみよし隣保館 寿 に設置され
おがりぞう すみよし ち さべつてっばい へいわ こうちく
たオガリ像が、住吉の地での差別撤廃、平和の構築に
む うんどう ちからづよ はげ
向けた運動に力強い励ましをあたえていってくれるもの
かくしん
と確信しているところです。

おす さい あらた せいさくしゃ きんじょう
結びになりますが、改めて、制作者の金城さまをはじめ
かんけい おんれい もう あ いちにち
め関係のみなさまに御礼を申し上げますとともに、一日も
はや おきなわ よみたんそん おがりぞう せいしき せっち
早く沖縄・読谷村においてもオガリ像が正式に設置され、
すみよし おきなわけんよみたんそん れんたい ふか きたい
住吉と沖縄県読谷村との連帯が深まることを期待して
いること、わたしたちもそのために全面的に参画していく
こと、お誓いし、除幕式開会にあたってのごあいさつとい
ちか じょうまくしきかいかい
たします。

ねん がつ にち
2023年2月11日

こうえきざいだんほうじん すみよしりんぼし じぎょうすいしんきょうかい
公益財団法人 住吉隣保事業推進協会
り じちよう ともなが けんぞう
理事長 友永 健三

かんぱ れい
<カンパのお礼>

みにおがりぞうせっちせれもにー すみよしぶらくしけんきゅうかい さんか かつがた おがりぞうせっち かんぱ
ミニ・オガリ像設置セレモニーと住吉部落史研究会に参加された方々からいただいたオガリ像設置カンパは、
ごうけい えん ばん か れい ほうこく じむきよく
合計21,283円となりました。この場をお借りして、お礼と報告をさせていただきます。（事務局）

ねん ど すみよし ぶらく しけんきゅうかい
2022年度住吉部落史研究会

さべつ たたか ぶんか おがりぞう すみよしせっち きんじょうみのる ちようこくか
差別と闘う文化～オガリ像の住吉設置によせて～ 金城実（彫刻家）

かじかわたづこ やくそく
梶川田鶴子さんの約束



まず、わたしの前に写真があります。これは梶川田鶴
こ じつ きょう みにちゅあ おがり かせき
子さんです。実は、今日のミニチュアのオガリを返す気
なつたのは、かじかわ ことば かんじょう
になったのは、梶川さんの言葉だったんです。梶川さんが
い わす きんじょう みにち
言ったことが忘れられない。「金城せんせい、あのミニチ
ゅあかえ おお ちようこく き なに
ュア返してくれないか。大きな彫刻が消えたたとたん、何か
うしな さみ た えられぬい」と言って泣き出
したんです。それでこれはもうどうしても返さないといけな
いと思った。しかしそう決意はしたものの、『解放へのオガ
り おお ちようこく おきなわ た お
リ』の大きな彫刻が沖縄で建つまで置いておこうとなっ
ちようこく おお ぶんかつ お
た。彫刻は、あまりに大きいので8つに分割して置いて

います。どうかたちで建てるのか、おそらく業者も困るだろうというので、とりあえずあのミニチュアを本物が建つまで置いておこうということになった。しかし、梶川さんが亡くなってしまった。梶川さんとは「返します」と約束したのに……。段々と梶川さんとの約束が重みを出した。前回、住吉に来たとき、線香をあげて、お詫びしました。「申し訳ございませんでした」と。ここにいる木本さんも梶川さんに代わって「早く返せ、早く返せ」と言う。これはえらいことになるなあと。そして、業者を呼んで梱包させて送りました。ミニチュアのオガリは、ずいぶん古いものです。40年以上前のものなので、色あせていましたが化粧をして重みのあるような色をつけました。今日見たら、昔からあったような土色、黒みがかかった色が偶然だけど、壁面とマッチしているということです。

けんりよく さべつ たたか げいじゆつか けーて こる づいつつ
権力と差別と闘う芸術家たち～ケーテ・コルヴィッツ
から『解放へのオガリ』へ

『解放へのオガリ』
はどのようにできたのか。この作品のヒントは、ヒットラーの弾圧を受けた、ドイツの女性版画家ケーテ・コルヴィッツの『種子は粉にするな』です。



この女性是我に相当な影響を与えました。彼女は、内乱、ヒットラーの弾圧を受ける。第一次世界大戦では、自分の息子ピエタが死にます。孫にもピエタという名前をつけるが、第二次世界大戦にこの子も亡くなります。そしてケーテ・コルヴィッツは、こう言っている。「目覚めていなかった。国を愛し、お国のために自分の子どもを差し出したけど結果的には間違った。陶酔はあったが目覚めていなかった」と反省文を書いた。立派な言葉ですね。日本も戦争に巻き込まれる恐れがある。戦前のあの戦争に行くときの状況をしっかりと考えて欲しい。

たたか ぼうず たたか せんせい しんよう
闘わない坊主と闘わない先生は信用するな、わたしもともと学校の教員だったけど。陶酔はあったが目覚めがない。彼女は自分の反省から、ヒットラーに協力しないということになった。彼女は、大学の教員で、家もアトリエも国から与えられていた。ところがヒットラーに反抗したために、大学での職を追われて、家も奪われた。それでも抵抗した。ケーテ・コルヴィッツの抵抗は、中国の有名な文学者、魯迅に伝わっていきます。この地球上で、権力と差別と闘っている人間は、ドイツだけではない、中国でも闘っている。ケーテ・コルヴィッツから『解放へのオガリ』になっていったというのはオーバーではない。

ちゆうごく ろじん おお えいきやう あた けーて こる づいつつ
中国の魯迅に大きな影響を与えたのは、ケーテ・コルヴィッツです。もうちょっと踏み込んで言うと、魯迅の教え子、美術評論家に柔石という青年がいます。お母さんは目が不自由だった。この柔石はスパイ容疑で捕まり、処刑される。

それを知った魯迅は、公に抵抗できないから、ケーテ・コルヴィッツの『生贄』という版画を表紙にして追悼の意を込めて『北斗』という雑誌を発行します。もちろん権力側は、許すわけにはいかないので、その本が出たとたんに焼き討ち・発売禁止にした。ということは、中国においても、ドイツにおいても第二次世界大戦に抵抗した芸術家があった。メキシコなどでも抵抗した壁画運動を展開した、反植民地運動に抵抗した芸術家がいっぱいいいた。日本にはない。日本は裸に鳩を持たせて平和ぐらいのもの、その程度のもので。岡本太郎も「芸術は爆発だ」と言ったが主語がない、誰に向かってどこに爆発させるのかがない。立派な芸術家と言われているけれども…。美術の教員も、ゴヤといえば『裸のマハ』ぐらいしか知らない。『我が子を食らうサトルヌス』という立派な晩年の作品も知らない。

さんこうぶんけん おききわ ぼ げんだいしょかん ねん きんじよみのる とも
※参考文献：『沖繩を彫る』現代書館/1987年/金城美 (著)

すいへいしゃせんげん
水平社宣言をかたちづくることば

なぜそんなことをわたしは追求しているかとういと、水平社宣言文のなかに、妙な読みづらい字が一点ある。

きないか」と言われた。これはおもしろいな、平面から立
 体にするというのは難しいけれども、写真を見て立体化
 するというのもやってみるとおもしろいだろうなと軽く思っ
 ていた。矢野さんに「等身大の大きさを引き伸ばして、写
 真を撮ってこい」と言ったら、ちょうど1メートル40センチ
 ぐらい直径の大きな写真をもってきた。それを、写真の上
 に粘土を積み重ねながら立体化していくことに成功しま
 した。これは、すみよし隣保館 寿 にありますよ。

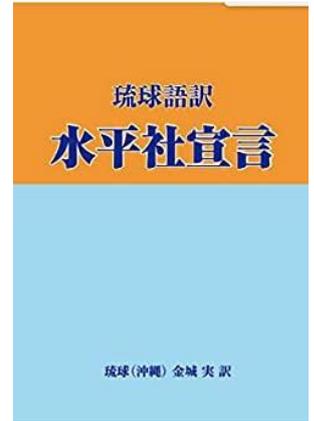


すみよし隣保館 寿 1階に展示されている荊冠旗の彫刻

それで、いったいこの荊冠旗のデザインは誰がつく
 たのか疑問をもちはじめます。興味深くつくればい
 思っていたのに、荊冠旗をつくったのは誰かと気になり始
 めた。調べているうちに、一冊の本に出合います。『西光
 万吉全集』です。そのなかから水平社宣言文と荊冠旗
 を図案化したのは、西光万吉なんだということがわかる
 んですね。そしていっぺん宣言文を取り寄せて読んで
 すが、ちんぷんかんぷん 難しいし、わからない。「陋劣な
 る…男らしき産業的殉教者」、漢字が難しい。陋劣
 なるとか、卑屈なるとか。すごいね、昔の人は、あんな難
 しい漢字であると同時に、ばちっと読者を射り落とすぐら
 いの迫力と情念と思想と先ほど言った文学と哲学とか
 組み合わせて立派な宣言文になっているということがだん
 だんわかった。何度も読んでみるとようやくわかってくる。
 すごいなあ。一体しかし、この水平社宣言文はなにをどう
 もってきてつくり上げたのか、完成したのか気になる。彫
 刻と一緒にすけどね。

水平社宣言 琉球語版を完成させるまで

水平宣言文が文学である
 ということで興味を持ちだ
 たととたんに研究に入る。こ
 れが大変でした。昨年の 2月
 ごろからはじまって昨年の 11
 月か 12月頃に完成するまで
 1年かかるんですよ。今だから
 言うけど、かなり悩んだ。何回



も、書いたり消したり、書いたり消したりした。組み立てた
 り、ばらしたりした。しまいに酒を飲んで、酒に逃げるよう
 になった。段々それが多くなって自分ではわからないけど
 アトリエで怒鳴ったり、独り言を言ったりしました。気が付
 かない。妻は 2階に寝ているけど、妻が誰と話しているか
 と思えば私が一人で酒を飲んで壁に向かって大きな声
 を出したりしている。でも覚えていない。

妻に「おかしいよ」と言われた。酒を飲んで、大きな声
 で壁に向かって怒鳴ったり、テーブルをたたいたりしてい
 た。それを自分では気づかなかった。今考えてみると、
 水平社宣言文の琉球語訳を仕上げることを半分諦め
 かけていた。何人かに救いを求めていた。大学の先生に
 も助けてくれと言った。何人かに整理を求めたけど、返事
 がない、逃げている。でも 幸いなことに、宇多滋樹さんと
 川瀬俊治さん、この二人に頼んで、ついに仕事がすすん
 でいくことになった。

宇多さんは粘り強い、川瀬さんは早い。ちょうどいい組
 み合わせだった。その二人を引き込んで、一緒にやった。
 わたしはワープロを打てないから、わたしの汚い字をワ
 ープロに整理してできたのがみなさんの手元にある水平
 社宣言文 琉球語訳です。

今だから語るけど、大変な仕事だったと思います。むし
 ろ彫刻の方が健康的でした。体を動かすと酒の味も違
 う。字を書いていると段々心が暗くなっていく。彫刻つく
 るときは明るいんだけどね。いずれにせよ、水平社宣言
 文を書きあげるといふ大きな喜びと、さらに今日の日を
 迎えて、これからも解放運動、部落だけではなく、コリアン

しょうがいしゃ りゅうきゅう おきなわ あいぬ しょうすうみんぞく まいの
や障害者、琉球・沖縄、アイヌ、少数民族というかマイノ
リティの運動、ジェンダー問題まで発展していく大きな基
礎となり、シンボルとなっていくことを私自身願いながら
これからの運動の発展を見届けていきたいと思っています
す。

ですから、人間のかかわりは不思議なもので、いっぺ
んにぶつかる玉突きのようにいいことに出合う。

人間の尊厳を取り戻す闘い

解放運動とか人間を解放する運動は、しんどいかもし
れないが、人と人がつながっていく、社会を見る目が
養われるし、いろんな運動の展開が待っているというこ
との喜びがあります。

もう一つ触れると、『恨の碑』という彫刻があります。2
メートルぐらいある彫刻です。目を隠され、ロープで手
縛りあげられて、処刑台に連れて行かれるという『恨の
碑』。恨みと書いて朝鮮語では「ハン」と読む。いつのま
にか部落問題や沖縄の問題だけではなく、在日の問題
にもかかわりました。『解放へのオガリ』の左手で抱えて
いる子どもは障害者でちゃんとモデルがいます。何が言
いたいかと言うと、解放運動というのは、しんどいとかし
んどくないという以前に、人間に幸せというか喜びとい
うか、人間の尊厳を与えてくれる。差別と抑圧と闘うとい
うのは、しんどいという以前に、人間の尊厳を取り戻す闘
いであるということです。

だから水平社宣言文に、ばちっと叩き込まれているの
は、人間は憐れむべきではないと書いてある。もう一度、
みなさんにも水平社宣言文を読んでいただきたい。

ある夜間中学生とのあい

彫刻もそうだけど、追及するのはしんどい、難しい。
時には、わけもわからん、先ほど話したようなことが起こる。
でも、酒を飲むことができなかったらわたしは死んでいま
す。酒を飲まない人もいるかもしれませんが、わたしにとっ
ては、酒を飲むというのは、ストレスの解消に一番いい方
法。これは夜間中学校で経験した。

やかんちゅうがっこう きょういん どうじ じゅうど
夜間中学校の教員をしていた当時、わたしは、重度
の脳性麻痺の生徒と出会った。でも授業がなかなかで
きない。わたしがどこで人権問題とか、人間に対する気
持ちは学ぶことができたかというお話をして終わりたい
と思います。

わたしはなぜ酒を覚えたかと言うと、前々から好きとい
うのがあるけど、夜間中学校に高橋栄一さんという年上
の重度の脳性麻痺の生徒がいた。彼が言っていること
ばが聞こえない、理解できなかった。これまたやれるか
なあ、どうかなあ常勤講師で、給料10万円もらって精神
的にしんどくなってしまったら元も子もないから、やめよう
かどうするかと考えていた。そのときに、血を吐くんです
よ。吐血の原因は何かというストレスだった。なんとかし
て、ストレスを越える方法がないかと考えた。自分の弱さ
を知っているから、逃げるか逃げないか。血を吐いてし
まった後に、レントゲンあてたら、胃カメラ飲んだら急性胃
炎だった。

病院に行かずに治す方法、乗り越える方法の一つと
して、生ニンニクを擦って肉や魚の上のせて食べた。
これはうちの島で高齢者がよく「ニンニクは何でも効くよ
」と言っていた。試しにしばらくやったら治った。

そんなこともあって、高橋栄一さんを誘って酒を飲み
に行くことにした。「高橋さん、あんた酒いけるか」と聞くと、
「いける」とニタッと笑う。今日はここで勝負だと思って連
れて行った。しかし、彼にどう酒を飲ませばいいのかわか
らず、悩んでいた。生徒だから、こちらが弱みを見せたら
いけないと思って「高橋さん、あんたはどんなふうにも酒を
飲む?」と聞いてみた。おそらく怒っていたと思うけど、あえ
て挑発した。以前、ストローで飲んでいるところは見たこ
とがあっただけど、それをすればなめられると思って、聞
いてみた。

そしたらおもしろいことを言う。「先生、コップを置いて
と言う。「コップ置いてどうする?」と聞くと、「つぎなさい」
と言う。びっくりしたね。ついであとね、体を半分ぐらい
ずっとゆすっている。見た目は一瞬たりとも止まらない。
そんななか一気に酒を口に放り込む。すばらしい、障害

者に対してもそうだが、憐れんだらいけないというのはここ。はじめて学ぶわけ。ストローで飲ますなんて傷つくわけや。自分ができる最小限・最大限の努力をするわけだ。「自分で努力せい」と水平社宣言文にも書いてある。だんだん人間的に人間と付き合っていると、いま、言うように、一気に口に酒を放り込んで、コップをもとに戻すという早業をする。人間とはすごい。水平社宣言文もそういうこと。下手に手をかしたらいかん。尊敬すべきものだと書いてある。まさしくそう。

そして、最後の闘いまで引っ張っていくと、高橋さんはもう一度俺にちょっかいを出して、闘うわけですよ。高橋さんは金城実に見られている。金城実が今日酒を飲むと誘ったのは挑戦状を突き付けてきているとわかっている、頭の良い人だから。こちらも次にどんな手が出てくるかを見ている。そしたら餃子を注文した。そして餃子の上によだれを垂らした。試しているわけ。頭にきて「なんで俺の餃子の上によだれをかけるのかばかやろう」と言った。はい、勝った。そしたら今度は、高橋はトイレに行く。俺はトイレまでおっかけて行かない。

高橋さんも段々わかってくる、金城実が必死に喧嘩を売っているなど。こっちも思っている、トイレから帰ってきたらどうするかと思っていた。そしたら、もとの席に座る直前にこけた。そのこけ方がわざとらしいから、蹴飛ばしてやった。蹴飛ばしてやったらそばで酒を飲んでいるおっさんらに、「こら、ひげの野郎かわいそうに。蹴とばすとはなんだ」と言われた。そしたら高橋はニタッと笑って「わたしの先生です」と言う。アホらしいとなって、おっさんらも白けてしまった。

*後日談：高橋栄一さんは天王寺高校二部に入学した。卒業後、亡くなった時、金城実さんが喪主を務めたとのこと。

何でそんな話をするかというと、まさしく解放運動というの、美しい、闘いというのは人間の尊厳を取り戻す立派な芸術であり、人間をかわいそうではなく尊敬することが一番大事だということを宣言はわれわれに教え

てくれているんです。したがって、沖縄の平和運動が欠けていることを、部落解放運動から学ぶべきだと思っている。この水平社宣言文の琉球語訳は、沖縄の新聞に2回も3回も掲載された。ようやくできて喜んでます。今後は、1冊の本にまとめようかというところにきているので期待してください。

※参考文献：『土の笑いーオキナワへ、オキナワから』
筑摩書房/1983年/金城実(著)

しつぎ おうとう 【質疑応答】

しつもん 質問——

昨年(さくねん)は水平社(すいへいしゃ)100年(ねん)ということで識字(しきじ)でも識字(しきじ)・水平社(すいへいしゃ)100年(ねん)宣言(げんげん)を現在(げんざい)つくっています。そのようなこと(こと)から今日(けふ)のお話(おはなし)は改めて(あらた)学ば(まな)せてもらいました(もらいました)。質問(しつもん)です。『解放(かいほう)へのオガリ(おがり)』、壁面(かきめん)レリーフ(れりふ)が住吉(すみよし)にはありますが、そこ(そこ)には識字(しきじ)のこと(こと)などをテーマ(てま)に作(つく)られていると思(おも)います。当時(とうじ)のよう(よう)す(す)で、印象(いんしょう)に残(のこ)っていること(こと)があれば(あれば)教え(おし)てください(ください)。

おうとう 応答——

まず(まず)、『解放(かいほう)へのオガリ(おがり)』です。オガリ(おがり)という名前(なまえ)をつけるにあ(あた)って(て)ずいぶん(ぶぶん)議論(ぎろん)しました(しました)。つまり(つまり)、あえて(あえて)部落(ぶらく)のこと(こと)ば(ば)である(である)オガリ(おがり)を(を)タイトル(たいとる)として(として)つけるか(か)、つけ(つけ)ない(ない)べき(べき)か(か)を議論(ぎろん)した(した)。わたし(わたし)は、あえて(あえて)部落(ぶらく)のこと(こと)ば(ば)をつける(つける)べき(べき)だ(だ)と主張(しゅちよう)した(した)。なぜ(なぜ)か(か)。

わたし(わたし)は、小学校(しょうがっこう)入(い)学(がく)の(の)とき(とき)から(から)沖縄(おきなわ)の(の)言葉(ことば)、地(ち)域(いき)の(の)言葉(ことば)を使(つか)う(う)と(と)罰(ばつ)せ(せ)ら(ら)れた(れた)。松(まつ)の(の)板(いた)に(に)方(ほう)言(げん)札(ふだ)と(と)書(か)か(か)れた(れた)もの(もの)を(を)ぶ(ぶ)ら(ら)下(さ)げ(げ)ら(ら)れた(れた)。島(しま)言葉(ことば)を使(つか)う(う)と(と)、罰(ばつ)と(と)して(して)首(くび)から(から)犬(いぬ)み(み)たい(たい)に(に)方(ほう)言(げん)札(ふだ)を(を)ぶ(ぶ)ら(ら)下(さ)げ(げ)ら(ら)れて(れて)恥(は)じ(じ)を(を)か(か)か(か)された(れた)。学(がっこう)校(い)に行(い)く(く)ま(ま)で(で)は、先(せん)輩(ぱい)・後(こう)輩(ぱい)と(と)ム(む)ラ(ら)の(の)言葉(ことば)を使(つか)い(い)なが(なが)ら(ら)行(い)く(く)ん(ん)だ(だ)け(け)ど、学(がっこう)校(い)に(に)着(き)いた(いた)と(と)た(た)ん(ん)、先(せん)生(せい)の(の)姿(すがた)を(を)見(み)る(る)び(び)た(た)つ(つ)と(と)止(と)まる(まる)。笑(わら)わ(わ)ない(ない)、大(おお)き(き)な(な)声(こゑ)を(を)出(だ)さ(さ)ない(ない)。沖(おきな)縄(なわ)の(の)し(しま)ま(ま)こと(こと)ば(ば)をつ(つか)か(か)ば(ば)ら(ら)ず(ず)に(に)首(くび)から(から)ぶ(ぶ)ら(ら)下(さ)げ(げ)ら(ら)れる(れる)。だ(だい)い(い)ぶ(ぶ)ら(ら)下(さ)げ(げ)ら(ら)れる(れる)の(のは)や(や)ん(ん)ち(ち)や(や)。や(や)ん(ん)ち(ち)や(や)も(も)最(さい)初(しょ)は(は)喜(よろこ)んで(んで)、「俺(おれ)が(が)持(も)つ(つ)、俺(おれ)が(が)持(も)つ(つ)」と(と)首(くび)から(から)ぶ(ぶ)ら(ら)下(さ)げ(げ)ら(ら)る(る)ど(ど)、時(とき)が(が)た(た)つ(つ)につ(つ)れて(れて)、誰(だれ)か(か)代(か)わ(わ)り(り)に(に)ぶ(ぶ)ら(ら)下(さ)げ(げ)ら(ら)る(る)人(ひと)を(を)探(さが)す(す)。す(す)ると(と)、や(や)ん(ん)ち(ち)や(や)坊(ぼう)主(ず)は(は)、弱(よわ)い(い)子(こ)を(を)蹴(け)と(と)ば(ば)す(す)。「あ(あ)が(が)ー」

い しまことば ほうげん まえ
と言ったら、島言葉だから方言だから、お前だ、ということ
ふだ わた
で札を渡す。

ことば だんあつ けいけん
言葉の弾圧の経験があったから、わたしは部落のこの
むら つか ことば かいほう おがり
ムラで使われている言葉をあえて、『解放へのオガリ』と
いうことでつけようと議論した。そのことをわからない人は、
はんたい とうぜん ぶらく ことば つか
反対した。当然、なぜ部落の言葉を使わなければならない
いのかと言われたこともある。

ひと だいじ ちゆうこく た あさ おおかわ えみ こ
もう一つ大事なことは、彫刻が建った朝、大川恵美子
さんとばったり会った。大川さんが走ってきて「せんせい、
せんせい、わたしら勝ちましたな」と言うから、何が勝った
んかとおも 運動しないばーちゃんが、「エタまる
だしやないか」と怒っていたという。大川さんはそれを勝つ
たという。大川恵美子さんはものすごく頭のいい人。

だいじ だいじ おおかわ はなし むら
ついでに大事だから大川さんの話をします。このムラ
から水道局に働きに行っている青年がいた。その青年
が水道局で差別落書きにあうわけですよ。水道局は、
はなし ひろ きゆうだん う おも
話が広がらないうちに、糾弾を受けないうちにと
んでしょう、婦人部長であった大川さんをお呼びで学習
会をしようと言った。それからがすごい、大川さんから直
せつ き おおかわ らくが せい
接聞いた。大川さんは、「だいたい落書きしようとする青
ねん もんだい いちばん もんだい らくが い
年も問題だけど、一番の問題は落書きしないと生きられ
ない空気。部落の青年を傷つけることによって自分が生
き苦しいところを少しでも楽にしようという青年も悪いが、
いちばんわる かいしゃ くうき い
一番悪いのはこの会社の空気だ」と言った。そして、これ
が階級闘争だと。

いんてり かいきゆうとうそう い いみ がわかつ
インテリはよく階級闘争と言う。でもよく意味がわかっ
ていない。一番わかっているのは大川恵美子さん。本質
を捉えている。落書きしている青年も悪いが、一番悪いの
は、落書きしないと生きていけないような職場を作っている
かいしゃ さいだい さべつ い りっぱ ひと
る会社が最大の差別だと言った。ご立派。わたしも人の
まね かいきゆうとうそう つか おおかわ えみ こ
真似して階級闘争と使っていたけど、大川恵美子さん
の人間の、物の見方、言葉の使い方は、感動した。いまだ
も忘れることができない。

かいほううんどう じんげん しつ たか
解放運動をするということは人間の質を高めるという
ことだから、おおいに頑張らしてほしい。わたしもしばらく頑
ば 張りたい。

しつもん
質問——

けさ あさひしんぶん き きじ やま
今朝の朝日新聞に、気になる記事がありました。「ヤマ
とんちゅう さべつ いた ちねんうし
トンチュに差別される痛み」ということを知念ウシさんとい
う沖繩の方が書かれていました。このなかで「沖繩が好き
だから、わたしもウチナンチュだというヤマトンチュもい
ます。素朴に口にしているつもりかもしれませんが、それも
しよくみん ち さべつ き
植民地差別だと気づいてほしい」という文言がありま
した。

おうとう
応答——

へのこ たたか しえん き やま とんちゅう ち
辺野古の闘いに支援しに来ているヤマトンチュに、知
念ウシさんがなんとやっているかという「帰れ」と言っ
ている。沖繩の辺野古の闘いに参加しているヤマトンチュ
がうやうやおる、こいつがおるからおれはいかないと言
いだ おぐたいき い いれい ひ こくさいへいわで
出した。具体的に言うと6.23の慰霊の日に国際平和デ
ーという摩文仁の丘とはちがって、納骨堂があったところ
で国際反戦沖繩集会の討論会を毎年している。その時
に、知花昌一さんと知念ウシさんがやりあった。わたしも
そこにいた。何が問題かと言うと、ウシさんは「ヤマトンチ
ュがいるから行かない」と言う。昌一さんは「おまえ、行
たことがあるのか？」と聞くと「行かん」と。「なんで？」と
き聞くと「ヤマトンチュがうようよしていると」と言う。基本的
にそれが問題だと思う。わたしはいつもチェ・ゲバラを思
いだ せかいじゅう けんりよく たたか みかた
い出す。世界中の権力と闘っているみんなは、味方だ
ということかなぜわからない、大川恵美子さんみたいに。

やま とんちゅう しえん く らい い やま
ヤマトンチュが支援に来るから行かないと言うが、ヤマ
とんちゅう しえん こ も おきなわ
トンチュが支援に来なければ、持ちきれないよ、沖繩は。
わたしも何度も行っただけ。そういうかんが え方が問題だ
と思っっている。チェ・ゲバラのように権力と闘うものはす
べて味方だということがどうして理解できないのか。わた
しがかんが え
しが問題だと言っているのはそこなんだ。

なぜ私 はそういうのかと言うと、30年間大阪にいた。
ここで「ウチナンチュは沖繩に帰れ」とか言ったらだまっ
るか？朝鮮人もそうだ。「朝鮮人、自分の国に帰ろう」、
「沖繩人、自分の国に帰ろう」と言ってみ、ただではすま
ないよ。そういうものかんが え方をしているわけね。ついて
はな
に話します。

ぶらくもんだい たい おきなわ ひと ぎゃっこう じけん
部落問題に対して、沖縄の人たちが逆行した事件が
あります。「にんげん ぎょうかしょ じけん じんるい かん じけん
にんげん 教科書事件」です。「人類館事件」
は、あまりにも有名です。1903年の日露戦争の前夜に
ちようせんじん たいわんじん あいぬじん りゅうきゅうじん ちんれつ
朝鮮人、台湾人、アイヌ人、琉球人というふう陈列さ
れた事件がありました。そのときも沖縄は、どんなことを
い 言ったかという、「われわれ 琉球民族は日本民族であ
る。われわれ 沖縄の人間は、れっきとした日本人だ。それ
をアイヌや朝鮮や台湾と陳列されていることが、許さな
い」というわけ。大川恵美子さんの階級闘争を思い出す。
そのことは1971年、復帰1年前に、にんげん 教科書とい
う副読本をめぐって しょうとつ しょうとつ かい
副読本をめぐって衝突します。どんな衝突という かい
放教育の副読本に沖縄が取り上げられていることに対
して、大阪の沖縄県人会からいちゃもんをつけた。しかも、
こともあろうに、べいみんせい ふ か りっぽうぎいん じだい しゆせき よく
米民政府下の立法議員時代の主席・翌
ねん ち じ こっかいぎいん ま こ ぶらくかいほううんどう たいりつ
年知事や国会議員も巻き込んで部落解放運動と対立
させてしまった事件です。幸いに一つの救いは、それに
たい ひょう ご けん おきなわ けん じん かい かい ちよう しゃかいとう けん かい ぎ
対して、兵庫県沖縄県人会会長で社会党から県会議
いん にかみえ す ひさし なに い おな さ
員にまでなった上江洲久さんが「何を言うのだ、同じ差
べつ をされている人間が力を合わせて権力に闘っては
じめて沖縄の姿がみえてくるのに、部落と一緒にされた
らなんて、なんてことを言うのか」とぶつかった。新聞紙
じよう い ぶん たいりつ あき さいしゅうてき
上で言い分の対立が明らかになりました。最終的には、
かみえ す たた きた
上江洲さんが叩きつけるかたちでまとまった。にんげん
ぎょうかしょ じけん
教科書事件です。

ですから、階級という差別構造は、大川恵美子さんの
あ の ぶ ち 抜き 方 は お 見 事 だ と 思 います。

しつもん 質問——

すいへいしゃせんげんぶん にほん きょうかしょ い
水平社宣言文を日本の教科書に入れてもおかくな
いというくだりがあったと思います。宣言文と接したのは、
お が り せいさく まえ あと
「オガリ」制作の前か後か。

おうとう 応答——

かいほう お が り まえ あと すいへいしゃせんげんぶん ふ
『解放へのオガリ』の前か後か。水平社宣言文に触れ
たのは、けい かん き り たい か み かいほう
荊冠旗を立体化したときにはじめて見た。『解放
へのオガリ』とおな じ き すいへいしゃせんげんぶん ふ
と同じ時期に水平社宣言文に触れている。触
れてはいるが、あまりに難しかった。漢字が難しい。辞

しよ ひ かん じ て みて
書を引かねば読めない漢字が出てくる。まったく見たこと
のない漢字が出てくる。これは手におえないと思った。もう、
れりーふつく
レリーフ作ったからええやないかと。そこまで踏み込む必
よう
要がないと逃げてしまう。ほぼ、40年間放つたらかしてい
た。先ほど言ったように、にしおかさどる しゅばん きねんぼー て
西岡智さんの出版記念パーテ
い とき きょうかしょ い うんどう ちようほう
イの時に教科書に入れる運動をというところで挑発した
が、それにぶらくかいほうどうめい かんけいしゃ にしおか
ぶらくかいほうどうめい かんけいしゃ にしおか
が、それに部落解放同盟の関係者や西岡さんらも乗ら
なかつた。そんなところのわだかまりもあつたので、とりあ
えず自分でやってみよう今回やってみた。



しつもん 質問——

か こ すいへいしゃせんげん つく しんくろう き
過去、水平社宣言を作るのに苦労されたと聞きました。
せんげんぶん じてん せんげんぶん かか ひと
宣言文ができた時点で、宣言文に関わっている人たち
が外に向けて宣言するのに、はだして芋をかじりながら
そと お せんげん いも
披露してまわったと聞きました。それだけ大変だったんで
ひろう き
披露してまわったと聞きました。それだけ大変だったんで
すか？

おうとう 応答——

せんげん
宣言づくりにかかわってどうしたかということでしょうか。
し あ べつ かくど
仕上げるまでに、別の角度にどういったことがあるのか。
わたしの場合は、すいへいしゃせんげんりゅうきゅうごばん かんせい
わたしの場合は、水平社宣言琉球語版を完成させるま
す と れ す さけ に はなし
でストレスがたまって酒に逃げたという話をしました。そ
れで、きもと つた せんげん かん
木本さんに伝えたいのは、宣言ができたあとの感
どう おお しごと おも おきなわ じもと しんぶん
動です。大きな仕事をしたと思った。沖縄の地元の新聞
えぬえいちけー に ゆー す なが ぶらく すいへいしゃ
やNHKでニュースとして流すことで、部落とか水平社
せん み ひと み もりした
宣を見たことがなかった人たちが見ることになった。森下
さんというえぬえいちけー ぶろでゆーさなら じぶん こう
さんというNHKのプロデューサーが奈良まで自分の後

はい 輩をつかってインタビューに来た。それが沖縄にも放送された。本土では朝日、毎日新聞で、沖縄では、地元の新ぶんが 2回か 3回ほど角度を変えて宣言を紹介した。宣言文を全国に、特に沖縄県民に対して大きく広げてくれた誇りがある。あれだけ行き詰ったけれども、それを乗り越えていい仕事をしたと自分でも思う。

かんそう
感想——

ぶらくかいほう じんけんけんきゅうじょ しゅさい おきなわ ふいーる
部落解放・人権研究所が主催する沖縄でのフィール
どわーく さんか おきなわ けんどうきょう
ドワークに参加させていただいた。沖縄に県同教ができた
たら、すごいことができると感じた。今日の話聞いて感動した。現場での実践に活かしていきたい。

おうとう
応答——

はん ひ ほか ひと ちょうせんじん てーま
『恨の碑』の他に、もう一つ朝鮮人をテーマにした
さくひん しょうかい ありまおんせん とんねる
作品について紹介しておきます。有馬温泉トンネルを
ほとき じこ お ちょうせんじん ろうどうしゃ い
掘る時、事故を起こして、朝鮮人の労働者が生き埋め
なつた。保障をめぐって争ったが成立しなかった。戦前
ほなし わいえむしーえー ちゅうしん きろく のこ
の話だ。YMCAを中心になんとか記録に残そうという
こと、服部良一さん(元衆議院議員・金城 実を支える
かいだいひょう はなし おも せい
会代表)が話をもってきた。やってみるかと思って制
さく はい さくひん つく ときに
作に入る。そこもいっぺんもめる。作品を作る時にもめる
のはいいこと。あの作品では、タオルの鉢巻き姿でやる
のか、帽子でやるのかという議論だった。制作する側と意
けん いっち ばあい おお いっしょうけんめいはたら すがた
見が一致しない場合が多い。一生懸命働いている姿
をつくりたいというのが注文をした側の意見。逆に私
はいっしょうけんめい はたら ほう おも ぼうし
は、一生懸命に働かない方がいいと思って帽子にした。
さくひん はたら たいめーじ もある ばかに
この作品は、働きたくないというイメージもある、バカにさ
げいじゆつさくひん ていこう いろいろ
れて。芸術作品の抵抗は色々ある。

みなとがわこうえん ざいにちちょうせんじん つる はし も てん
湊川公園にある在日朝鮮人のソルバスを持って、電
しゃ がとおるようなレールを工事している作品です。あの
さくひん おも て のこ おお がんば
作品も思い出に残るものです。大いに頑張りましょう。

しつもん
質問——

すみよし へきが さやま れりーふ いま
住吉の壁画に、狭山のレリーフがあるが、今どこにあっ
て、どうされたいのか。

おうとう
応答——

れりーふ はんぶん しつもん じつ
レリーフがなぜ半分ないのかという質問ですね。実は、
けんりよく だんあつ れりーふ さやまさ
権力の弾圧をうけるんです。そのレリーフには、「狭山差
べつさいばんはんたい どうじ おおさか しきょういく
別裁判反対」とかいている。それを当時の大阪市教育
いんかい しゅうせい い
委員会が「修正せよ」と言ってきます。それが弾圧をうけ
るわけです。あとの青年部と子ども会がつくったものがない
という、なぜないのかという質問ですね。それは、いま
い いうたように修正を持ち出してきたわけ。それをわたしが
きよひ せつち
拒否した。そのために、設置できない。

げんざい たいいくかん せつち へきが れりーふ だいほち
現在、体育館に設置されている壁画のレリーフは大八
ぐるま ひ ばめん ろうじんぶ しきじ
車を引いているような場面を老人部がつくった。識字を
してある場面を婦人部がつくった。識字の場面の下には、
いしかわかずお てじょう いし くれよこ
石川一雄さんが手錠をはめられ、石にくられ横たわっ
ているイメージでつくったところがあります。傑作です。



せいしょうねんかいがんとせつたいいくかんすこ へきが れりーふ
もと青少年会館付設体育館横の壁画レリーフ

あのかきは、狭山登校など運動の盛り上がりがかすご
かつた時期です。わたしの責任なのかどうかわからない
けど、これは後輩、未来への遺産として残した方がいい。
かいほううんどう ふたたび も あ
解放運動が、再び盛り上がったときをまって、もう一度た
てつけることを期待したい。

(おわり)

れんさい
連載
Vol.12

けんぞうの視点



ねん およ こくさいれんたい わ ひろ 100年に及ぶ国際連帯の輪の広がり

ともながけんぞう
友永健三さん(公益財団法人 住吉隣保事業推進協会理事長)

はじめに

ぶらくもんだい と く わ ひろ
部落問題に取り組む輪の広がりについて、これまで
かい ぜんこくすいへいしゃ じだい せんご じち
で4回にわたって、全国水平社の時代、戦後の自治
たい きょういく ぶん や ろうどうくみあい きぎょう ぶん や しゅう
体・教育の分野、労働組合・企業の分野、そして宗
きょう ぶん や わ ひろ しょうかい
教の分野での輪の広がりについて紹介してきました。

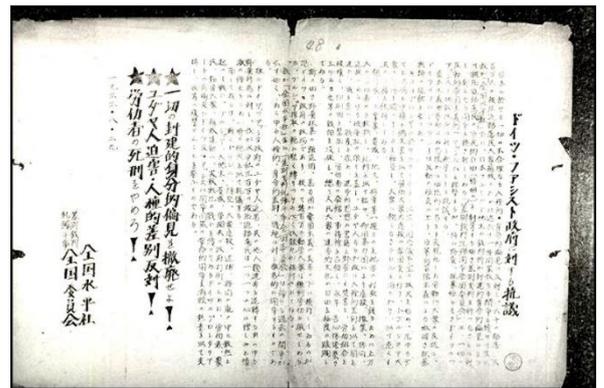
こんかい ぜんこくすいへいしゃ およ こくさいれんたい
今回は、全国水平社から100に及ぶ国際連帯の
わ ひろ かんたん しょうかい
輪の広がりについて、簡単に紹介します。

ぜんこくすいへいしゃ じだい こくさいれんたい 全国水平社時代の国際連帯

ねん がつ にち きょうと おかざきこうかいどう
1922年3月3日、京都の岡崎公会堂において、
ぜんこくすいへいしゃ そうりつ ぜんこくすいへいしゃ そう
全国水平社が創立されましたが、全国水平社は創
りつとうしょ こくさいれんたい してん
立当初から国際連帯の視点をもっていました。その
そうりつたいかい さいたく せんげん どうじ
ことは、創立大会で採択された宣言のなかに、当時
せかい せんしんてき ひゅーまんにずむ もと かんが かつ
の世界の先進的なヒューマンイズムに基づく考え
はんえい しょうちよう たと
方が反映されていることに象徴されています。例えば、
すいへいしゃせんげん にんげん いた
水平社宣言のなかには、人間は勤むべきものでな
そんけい じんけん き
く、尊敬すべきものであるという、人権についての基
ほん かんが かつ も こ ろ
本となる考え方が、盛り込まれています。これは、口
しあ げきさつ かまくしむ ごーりきー だいひょうさく
シアの劇作家マクシム・ゴーリキーの代表作である
『どん底』に出てくる登場人物が語るせりふのなか
ふく
に含まれているものです。

ご ぜんこくすいへいしゃ かっぱつ かつどう てんかい
その後、全国水平社は活発な活動を展開します
こくさいれんたい ふた じゅうよう と く
が、国際連帯として二つの重要な取り組みがありま
ひと ちょうせん ひ さべつみん べくちよん かいほう
す。一つは、朝鮮の被差別民である「白丁」の解放

うんどう ヒョンピョンサ れんたい ヒョンピョンサ
運動である「衡平社」との連帯です。衡平社は、19
ねん がつ そうりつ そうりつ い こう りょうだんたい
23年4月に創立されましたが、創立以降、両団体の
かつどう か たいかいどう さん か れんたい あいさつ おく
活動家が大会等へ参加し連帯の挨拶を送ったり、
かつどう じつじょう しさつ ひと
活動の実情を視察したりしています。もう一つは、19
ねん がつ なちす どいつ ゆだやじんほくがい たい
33年8月に、ナチス・ドイツによるユダヤ人迫害に対
こうぎぶん さいたく
する抗議文を採択したことです。



しゃしん どいつ なちす ゆだやじんほくがい たい
写真1 ドイツのナチスによるユダヤ人迫害に対する
こうぎぶん ねん がつ にち
抗議文 (1993年8月29日)

せんご まつもとじいちろうもと いんちよう ちゅうしん と く 戦後の松本治一郎元委員長を中心とした取り組み

ねん がつ ぶらくかいほううんどう ぶらくかいほうぜんこく い
1946年2月、部落解放運動は、部落解放全国委
いんかい さいけん ご ねん がつ
員会として再建されました。その後、1955年8月に、
ぶらくかいほうどうめい めいしやう へんこう こんにち かっぱつ かつ
部落解放同盟と名称を変更し、今日まで活発な活
どう てんかい
動を展開してきています。

せんご ぶらくかいほううんどう こくさいれんたい
戦後の部落解放運動による国際連帯をふりか
えったとき、3つの段階に分けることができます。第
いち だんかい まつもとじいちろうもと いんちよう
一の段階は、松本治一郎元委員長(1887~1966)
ちゅうしん こくさいれんたいかつどう じ き まつもとじいち
を中心とした国際連帯活動の時期です。松本治一

ろうもといんちよう ふ か しん ふ か ひ しん ざ ゆう めい
郎元委員長は、「不可侵 不可被侵」を座右の銘と
し、生涯を部落解放運動に捧げましたが、初代の日
ちゆうゆうこうきょうかい かいちよう つと にちちゆうこうこうかいふく ゆうこうそく
中友好協会の会長を務め日中国交回復と友好促
しん こうけん ねん がつ いん ど ほう
進に貢献しました。また、1955年4月にはインドを訪
もん ひ さ べつ か - す と ひ と れんたい と く
問し、被差別カーストの人びととの連帯にも取り組
んでいきます。さらに、1956年3月には、フランスのパ
リ かいさい じんしゅ さ べつ ゆ だ や じんはいせきはんたいこくさい
リで開催された人種差別・ユダヤ人排斥反対国際
れんめいたいかい しゅっせき れんたい あいさつ おく
連盟大会に出席し、連帯の挨拶を送っています。



しゃしん まつもと じいちろう いんちよう いん ど だりつ と
写真2 松本治一郎委員長によるインドのダリットとの
こうりゅう ねん がつ
交流 (1955年4月)

ねんだいこうはん こくれん じんけんかつどうとう れんたい 1970年代後半からの国連の人権活動等との連帯

せん ご こくさいれんたいかつどう だい だんかい
戦後における国際連帯活動の第2段階として、1
ねんだいこうはん い こう ぶらくかいほうどうめい ぶらくかいほうけん
970年代後半以降、部落解放同盟や部落解放研
きゅうしよ どうじ こくれん じんけんかつどう かつこく ほん さ べつ
究所(当時)は、国連の人権活動や各国の反差別
うんどう れんたい と く ねん い こう りようしゃ
運動との連帯に取り組めます。1976年以降、両者
こくさいじんけん きやく ひじゅんうんどう てんかい ねん
は国際人権規約の批准運動を展開し、1977年12
がつ こくれん まるく しゅらいばー もとじんけんぶちよう
月には、国連のマルク・シュライバー元人権部長を
まね こうえんかい どうきよう おおさか かいさい
招いた講演会を東京や大阪などで開催しました。1
ねん がつ にほん こくさいじんけん きやく ひじゅん
979年6月、日本は国際人権規約を批准しました。
りようしゃ ご じんしゅ さ べつてつぱいじようやく ひじゅんうんどう
両者は、その後人種差別撤廃条約の批准運動
とく ねん がつ どうじようやく にほん か
に取り組み、1995年12月に同条約への日本の加
にゅう じつげん
入を実現しました。

かん あめりか よーろっば いん ど みなみあふりか
この間、アメリカやヨーロッパ、インドや南アフリカ
など さ べつ たたか ひ と れんたい ふか ねん
等で差別と闘う人びととの連帯を深め、1980年1
がつ こくさいじんけん しん ぼ じう む ねん がつ
2月には国際人権シンポジウム、1982年12月には

だい かいはん さ べつこくさいかいぎ ねん がつ あ ばる
第1回反差別国際会議、1987年4月には「アパル
トヘイトの撤廃と平和の確立を求める集会」、1988
ねん がつ だい かいはん さ べつこくさいかいぎ どう かいさい
年12月には第2回反差別国際会議等を開催してい
ます。



しゃしん こくさいじんけん しん ぼ じう む ねん がつ おおさか
写真3 国際人権シンポジウム (1980年12月/大阪)

ほん さ べつこくさいうんどう けっせい ご こくさいれんたいかつどう 反差別国際運動の結成とその後の国際連帯活動

ねんだいこうはん い こうけいどうてき と く
1970年代後半以降系統的に取り組まれてきた
こくれん じんけんかつどう かつこく ほん さ べつうんどう れん
国連の人権活動や各国における反差別運動との連
たいかつどう ふ せ かい すいへいうんどう ねん
帯活動を踏まえ、世界の水平運動をめざし1988年
がつ ほん さ べつこくさいうんどう イマダ ー そうりつ どうきよう
1月、反差別国際運動(IMADR)が創立され、東京
まつもと じいちろう きねんかいかん内い ほんぶ せつち
の松本治一郎記念会館内に本部が設置されました。
い こう せん ご こくさいれんたいかつどう だい だんかい はい
それ以降、戦後の国際連帯活動は、第3段階に入っ
ています。



しゃしん ほんさべつこくさいうんどう イマダ ー けっせいそうかい
写真4 反差別国際運動(IMADR)の結成総会
(1988年1月/東京)

ほん さ べつこくさいうんどう そうりつ い こう みなみあふりか
反差別国際運動は、創立以降、南アフリカにおけ
あ ばる と へい と はいぜつ もと
るアパルトヘイトの廃絶を求めた取り組みをはじめ
かつどう かつぱつ てんかい など ひようか
とする活動を活発に展開したこと等が評価され、19

ねん がつ こくれん けいざいしゃかいり じ かい きょうぎ しかく
93年3月に国連の経済社会理事会との協議資格
も こくれんじんけんえぬじ-おー みと
を持った国連人権NGOとして認められました。

ねん がつい こう ほん さべつこくさいうんどう こく
また、1991年10月以降、反差別国際運動は、国
れん じんけんかつどう じ むきょく お かけられている スイス・ジュ
ネーブに事務所を設置し、日本の部落差別をはじめ
みぶん さべつ きいん さべつ てっばい まいのりてい
とした身分差別に起因した差別の撤廃、マイノリティ
せんじゅうみんぞく じんけん かくりつ かつどう
や先住民民族の人権を確立するための活動などを活
ばつ てんかい
発に展開してきています。



しゃしん こくれんじんけんしょういんかい ぶらくもんだい うった
写真 5 国連人権小委員会での部落問題の訴え
(1983年8月/スイス・ジュネーブ)

じんしゅ さべつてっばい いんかい せいけい
人種差別撤廃委員会での「世系 (descent)」に
もと さべつ てっばい
基づく差別の撤廃

こくさいじんけん きやく じんしゅ さべつてっばいじょうやく こくれん
国際人権規約や人種差別撤廃条約など、国連
さいたく じんけんじょうやく ていけつ く に こくない
で採択された人権条約を締結した国は、国内での
りこうじょうきょう かん ほうこくしよ ていきてき こくれん ていしゅつ
履行状況に関する報告書を定期的に国連に提出
することが義務付けられます。提出された報告書は、
ぎむづ ていしゅつ ほうこくしよ
それぞれの条約の履行を監視する委員会が審査さ
じょうやく りこう かんし いんかい しんさ
れ、勧告を伴った意見が公表されます。
かんこく ともな いけん こうひょう

こくさいじんけん きやく じんしゅ さべつてっばいじょうやく りこうじょうきょう
国際人権規約や人種差別撤廃条約の履行状況
かん にっほんせいふ ほうこくしよ しんさ じょう
に関する日本政府の報告書を審査した、これらの条
やく りこうかんし いんかい だ かんこく ぶらく
約の履行監視委員会から出された勧告では、部落
もんだい そうきかいけつ もと
問題の早期解決を求めています。

たと ねん がつ にほんせいふ だい かいほうこく
例えば、2001年3月、日本政府の第1・2回報告
しよ しんさ じんしゅ さべつてっばい いんかい さいしゅうしよけん
書を審査した人種差別撤廃委員会は、最終所見の
なかに、日本の部落差別が人種差別撤廃条約第1

じょう さだ せいけい もと さべつ
条で定める「世系 (descent)」に基づく差別であ
ることを指摘し、差別に対する保護並びに市民的、
せいじてき けいざいてき しゃかいてきおよ ぶん かつてきけんり かんぜん
政治的、経済的、社会的及び文化的権利の完全な
きょうじゅ かくほ かんこく
享受を確保するよう勧告しました。

じんけんしょう いんかい しょくぎょう せいけい もと さべつ
人権小委員会の「職業と世系に基づく差別」に
かん とく
関する取り組み

ぶらくかいほうどうめい ぶらくかいほうけんきゅうしよ どうじ だい
部落解放同盟や部落解放研究所(当時)の代
ひょう ねんだいしよとう こくれん じんけんかんけい かいぎ
表は、1980年代初頭から国連の人権関係の会議、
じんけんしょう いんかいとう せつぎょくてき さんか
とりわけ人権小委員会等に積極的に参加していま
す。1983年には、人権小委員会のもとに設置され
げんだいてきど れいせい さぎょうぶ かい よく ねん じん
た現代的奴隷制の作業部会で、翌1984年には人
けんしょう いんかい だいひょう にほん ぶらくさべつ げんじょう
権小委員会で、代表が日本の部落差別の現状を
うった こくれん もんだい かんしん も ようせい
訴え、国連がこの問題に関心を持つことを要請して
います。1990年代の後半に入ると、インドの被差別
かーすと ひさべつ どうじしゃ あいだ だりつと よく
カースト(被差別の当事者の間では「ダリット(抑
あつ ひと いみ よ
圧された人びとという意味)」と呼ばれている)に対
する差別撤廃にとりくむ団体からも同様の働きかけ
おこな
が行われました。



しゃしん じんしゅ さべつてっばい いんかい にほんほうこくしん さ
写真 6 人種差別撤廃委員会での日本報告審査
(2001年3月/スイス・ジュネーブ)

こうした かくほうめん ようせい う じんけんしょう いん
こうした各方面からの要請を受けて、人権小委員
かい ねん がつ しょくぎょう せいけい もと さべつ かん
会は、2000年8月、「職業と世系に基づく差別に関
けつぎ さいたく もんだい じつじょう はあく ていげん
する決議」を採択し、この問題の実情を把握し提言

をまとめるための特別報告者を設置する決議を採
択しました。

それ以降、人権小委員会のもとに設置された「職
業と世系に基づく差別」に関する特別報告者によ
り、3回にわたって中間報告が行われ、2006年8
月に「職業と世系に基づく差別」の撤廃に関する原
則と指針案が取りまとめられ、国連人権理事会へ提
出されました。

【注】2006年以降、国連での人権の位置づけを高めるため、
人権委員会は人権理事会へ人権小委員会は人権理事会
諮問委員会へ改組されています。

複合的な差別に関する指摘

2003年7月、日本政府の第4・5回報告書を審査し
た女性差別撤廃委員会は、最終所見のなかで「委員会
は、日本政府に対し、次回のレポートでは、日本における
マイノリティ女性の状況について、分類ごとの内訳を含
む包括的な情報、とりわけ教育、雇用、健康状態、うけて
いる暴力に関する情報を提供することを求める。」(30
パラグラフ)との勧告を行っています。

さらに、2009年8月、日本政府の第6回報告書を
審査した女性差別撤廃委員会の最終所見のなか
では、「委員会は、日本におけるマイノリティ女性の
状況、とりわけ教育、雇用、健康、社会福祉及び暴
力被害に関する情報を次回の定期報告書に含める
よう締約国に求めた要請を繰り返す。この文脈にお
いて、委員会は締約国に先住民族アイヌ、部落、在
日コリアンおよび沖縄の女性を含むマイノリティ女
性の状況に関する包括的な調査を実施するよう求
める。」(52パラグラフ)と勧告されています。

こうして、「世系」もしくは「職業と世系」に基づく
差別をうけている人びとのなかでも、女性の置かれ
ている状況について、特別の関心を持って差別撤

廃に取り組んでいくことの重要性が、近年強く叫ば
れるところとなってきています。

人種主義に関する国連特別報告者の日本公式 訪問報告書での指摘

2005年7月、国連人権委員会のもとに設置され
た現代的形態の人種主義・人種差別・外国人嫌悪
及び関連する不寛容に関する特別報告者のドウ
ウ・ディエンさんが日本を公式訪問されました。その
報告書(以下、「ディエン報告」と略)が2006年9
月に開催された人権理事会へ報告されましたが、以
下に紹介するような重要な指摘が行われています。



写真7 人種主義に関する特別報告者ディエンさんの
日本訪問(2005年7月/東京)

- 被差別部落をはじめとするマイノリティが教育、
雇用、健康、居住等へのアクセスにおいて周辺
化された状況で暮らしている。
- 被差別部落をはじめとするマイノリティが、国政に
おいて「不可視(invisible)」の状態におかれて
いる。
- 国として、被差別部落をはじめとするマイノリティ
に対する差別が存在していることを認め、これら
の差別の撤廃のために闘うことの意志表明を
行うこと。
- 実態調査を実施すること。

- 差別を禁止する法令を制定すること。
- 平等及び人権のための国内人権委員会を設置すること。
- 政府内に部落問題を含む差別問題解決のための適切な部局を設置すること。
- メディアがマイノリティに関する番組の放送枠を拡大すること。
- マイノリティ内の女性の権利を高めること。

はんじんしゅしゅぎ さべつてつぱいせ かいかいぎ さんか 反人種主義・差別撤廃世界会議への参加

2001年8月末から9月の初めにかけて、国連主催の「反人種主義・差別撤廃世界会議」が、南アフリカのダーバンで開催されました。この会議に、反差別国際運動は準備過程から積極的に参画しました。日本から、部落解放同盟は24人の代表を送りました。部落解放同盟の代表は、インドやネパールなどの被差別ダリットの代表とともに、「職業と世系に基づく差別」をこの会議で採択される「宣言と行動計画」の中に取り上げられることを求めた活動を行いました。具体的には、日本の部落問題とインドのダリット問題をテーマにしたパネル展やシンポジウムの開催、会場内でのデモ行進の展開などがとりくまれました。最終的には、インド政府の強硬な反対で、政府間で採択された宣言と行動計画には「職業と世系に基づく差別」は盛り込まれませんでした。NGO間で採択された宣言と行動計画には盛り込まれました。

こんにち どうたつてん 今日の到達点

1970年代の後半から本格的に取り組みられてきた、国連の人権活動との連帯のもとで部落問題の解決を展望していくという取り組みは、今日、次に述

べる地平まで到達してきています。

- 日本の部落問題が、自由権規約委員会や社会権規約委員会、人種差別撤廃委員会、女性差別撤廃委員会などの条約履行監視委員会における政府報告書の審査を踏まえた勧告のなかで、言及される課題となってきた。
- 日本の部落問題が、国連人権小委員会、国連人権委員会のもとに設置された特別報告者に関心をもち、解決に向けた提言をするところとなってきた。
- 日本の部落問題が、インドをはじめとする南アジア諸国に存在するダリットに対する差別、アフリカのいくつかの国に存在している同様の差別、さらにはディアスポラ社会のなかにも存在している同様の差別とともに人種差別撤廃委員会では、「世系に基づく差別」、人権小委員会では「職業と世系に基づく差別」として把握され、国際的に関心を持たれる課題となってきた。
- 日本国内においても、部落問題の解決が、国際的責務であるとの認識が広まってきている（例えば、1996年5月に出された地域改善対策協議会意見具申では、「同和問題など様々な人権問題を一日も早く解決するように努力することは、国際的な責務である」との指摘がなされている）。
- 以上に列挙したように、部落問題をはじめとした「世系」もしくは「職業と世系」に基づく差別を国連が関心を持つように系統的に働きかける主体として反差別国際運動や国際ダリット連帯ネットワーク(IDSN)が創立され発展してきていること。

すみよしりん ぼ じ ぎょうすいしんきょうかい 住吉隣保事業推進協会のうごき

り じ かい ひょう ぎ いん かい かい さい 理事会・評議員会の開催

すみよしりん ぼ じ ぎょうすいしんきょうかい 理事会
住吉隣保事業推進協会の理事会を 2023年2月
14日、評議員会を 2023年3月8日に開催しました。
今回の理事会・評議員会では、主に 2023年度
事業計画、予算が審議されました。

次年度の事業(特に、①「こども第三の居場所事
業」の発展、②NPO法人住吉高齢者・障がい者福
祉事業団が行ってきた事業の継承、③市民交流セ
ンターすみよし北の跡地の活用などのまちづくりの推
進)について積極的な検討が行われた後、
満場一致ですべての議案が承認されました。

き ふ れい ご寄付のお礼

2023年2月1日以降にご寄付をいただいたみな
さまです。

【部落解放同盟大阪府連合会西成支部 寺本良弘さ
ま、テイ イッシュウさま、齋藤直子さま、他ご本人の意
思により、お二人お名前非公開】 計52,000円

2022年度寄付目標金額は、150万円でしたが、
2023年3月末で1,277,107円の寄付を頂きま
した。目標額には届きませんでしたが、寄付をして
頂いたみなさまに厚く御礼申し上げます。

【2023年度寄付目標金額：150万円】

当法人では、総合生活相談(無料法律相談含む)、自
主学習支援事業、就労支援事業、居場所・食育事業、
識字・日本語教室支援、公益貸室事業、図書事業、人
権教育推進事業などを公益目的事業として実施してい

ます。これらはみなさまのご寄付によって支えられています
(個人・団体から受け付けています)。頂きましたご寄付は、
法人で実施するこれらの公益目的事業の経費、住吉隣
保事業推進センターの維持管理に使わせていただきます。

わたしたちの取り組みに、ご理解とご協力をぜひお願い
します。なお、公益法人に対してご寄付いただいた方は、
税制上の優遇措置を受けられます。寄付額に応じて、個
人または法人の所得から一定額が控除されます(くわしく
は事務局までご相談ください)。

【ご寄付の方法】

銀行振込、または直接事務局へご持参ください。ご寄
付の際は寄付申込書に必要事項をご記入いただきます。

<事務局> 住吉隣保事業推進センター

住所：大阪市住吉区帝塚山東 5-6-15
電話：06-6674-3732

<振込先口座>

大阪信用金庫 住吉支店 (店番号041)
普通口座 (口座番号 0115047)
口座名義 公益財団法人住吉隣保事業推進協会

賛助会員を募集しています！

賛助会員を募集しています。加入していただけれ
ば、当法人の活動をまとめた機関紙『すみりんニュー
ス』をお送りします。また、当法人主催の指定講座に
参加費半額免除でご参加いただけます。

<年会費>個人：3,000円 団体：10,000円

【申し込み方法】

所定の申込用紙に必要事項をご記入の上、年会
費と一緒に当法人にご提出ください。

情報を配信しています！

ホームページ



すみよし隣保館 で検索

Facebook



すみよし 寿 フェイスブック で検索

Instagram



@sumiyoshi_kotobuki

YouTube



ぜひ、チャンネル登録を

